

数々のメディアで紹介！！
360度の視界と音で認知症の方が感じている世界を知ろう

定員50名

VRで体験する 認知症

～ 疑似体験会参加者募集 ～

認知症は身近な病気です。2012年の全国の認知症高齢者数は約462万人と推計されました。ある日突然、両親が、夫が、妻が、上司が、同僚が、自分が…他人事ではありません。認知症の症状を自分のこととして体験することで、認知症のある方がどのようなことで困り、混乱しているのか。また、認知症のある方とその家族に対する社会的心理環境の課題、認知症があっても安心して暮らしていくためには何が必要なのかを皆さんで考えていきます。認知症の症状が単なる物忘れだけではないことが知ることができ、私たちがいかに認知症のことを理解できていないかを実感できる体験会です。数々のメディアにも取り上げられ話題のVR体験会です。ぜひご参加ください。

「バーチャルリアリティ(VR)の技術を活用し、認知症の中核症状を疑似体験するプログラムです。通常「認知症」については「認知症ではない人」の視点で語られることが多いですが、「認知症のある人の視点」に立つことで180度違う感覚を持つことができるプログラムです。」

◇日時 平成30年5月8(火)

午後2時30分～午後4時00分

◇会場：としま産業振興プラザ6階多目的ホール
(西池袋2-37-4)

◇講師：株式会社シルバーウッド
【港区南青山3-2-2 MRビル7階 TEL03-3401-4001】

◇参加会費 産業協会会員 お一人様 1,000円
一般 お一人様 2,000円
【機材レンタル代を含む】(各社2名様まで)
(参加会費についてはお申込み受付後、請求書を発行させていただきます。期日までにお振込みをお願いいたします。)

◇定員 先着50名(定員に達した場合はご連絡いたします。)

◇締切日：平成30年4月20日(金)

◇お申込み・問合せ 一般社団法人豊島産業協会
豊島区西池袋2-37-4 豊島区立としま産業振興プラザ4階
TEL: 03-3981-1540 Fax: 03-3983-8424



介護離職を防ぐためにも寄り添い方のヒントを学ぼう！

～・・・～「VRで体験する認知症」参加申込書 ～・・・～

事業所名	電 話	
	ご担当者名	
住 所		
参加者名	参加者名	

【申し込み先】 一般社団法人豊島産業協会 FAX 03-3983-8424

VR 認知症 プロジェクト

Project Dementia VR



認知症になると想いを表に出しづらくなり、代わりに起こす行動が“周囲には理解できないもの”と映ってしまうことが多くあります。

表面的な行動は「徘徊」「帰宅願望」「入浴拒否」などの様々な専門用語で括られ、“認知症だから起こすもの”と思われがちです。しかし“認知症だから”ではなく、混乱する環境においては誰もが通常と違う行動を起こすものと理解し、始まったのがVR認知症プロジェクトです。

※「VR認知症」は、認知症ではない人が、バーチャルリアリティ（VR）の技術を活用し、認知症の中核症状を体験するものです。認知症の症状は単なる物忘れだけではないのです。

「認知症を学ぶ」のではなく「認知症を体験する」ことで認知症のある方への理解を深めることを目指しています。

今まで体験いただいた13,000人以上の方から、様々な感想をいただいています。

認知症については、全て理解しているつもりでいたが、上から目線だったのかもしれない。“症状”を見て“ご本人”を見ていなかったのかもしれない。

●認知症専門医

認知症の方の気持ちを理解し寄り添いたいと思うとずっと来てがなかなかできなくて苦しんでいた。体験を通じてこれから自分がどうしていけばいいのかやっとわかった気がして涙が出た。

●介護職員

認知症に対して「大きな負」のイメージしかなかったが、体験を通じて負のイメージがなくなった。

●大学生

10年前にこの体験ができていたら自分の母親に対する介護が変わっていたかもしれない。今介護をしている家族に見てほしい。

●介護家族

今まで受けてきた講義とは全く違う理解の仕方で驚いた。VR体験の力に大変驚かされた。

●認知症認定看護師

現在父親の介護中だが早速、接し方を変えていきたいと思った。

●会社員